

第2回専門部会意見対応表

資料5-2

No.	委員	意見	対応
部会【子ども・若者、生活・暮らし・地域、安全・安心】			
1	吉岡委員	<p>○吉岡委員 この計画の議論では、札幌市の職員体制に対し、こうあったらいいという意見を言ってもいいものなのでしょうか。なぜかといいますと、<u>子育てや教育、保育の分野もそうですし、子育て支援もそうですけれども、札幌市の職員は異動されますよね。本当はもっと長くいてほしいですし、そうして信頼関係をつくりたいと思っている子育て支援に関わる市民はいっぱいいるのですけれども、せっかく人間関係ができてもすぐに移ってしまい、非常に残念な思いをしている人も多いのです。それも踏まえ、意見を反映していただくことはできるのでしょうか。</u></p> <p>○事務局（浅村政策企画部長） まだお示ししていないのですけれども、今ご議論をいただいている戦略編については、施策の方向性を目標ごとに示すということもあるのですけれども、それに対応した行財政運営をどう展開していくのかについて最終章で触れていく必要があると考えています。</p>	<p>ご指摘の人事異動サイクルについては、多様な市民ニーズに対応するため、効果的な人材育成、適材適所の人事配置、個人の意欲の向上を喚起するための職員のキャリアデザインの形成への支援の観点から、総合的に検討していくことが必要と考えております。</p> <p>行政運営の取組方針「ウ 職員力の向上」において、職員力・専門性を向上させる人材の育成・意識改革を進めるための具体的な取組について検討してまいります。</p>
部会【環境・都市空間】			
2	椎野委員	<p>○椎野委員 個人的な意見というか、感想になってしまおうと思います。</p> <p>私は、2人目の子どもが産まれたときに、札幌市から有料の燃えるごみの袋を10袋分ぐらいもらったのですよね。これはほかの市町村が考えられたのかもしれないのだけれども、よく考えたなと思っていました。赤ちゃんはおむつを頻繁に替えないといけないので、おむつ代はかかるし、おむつを捨てる有料の袋代もかかるのですが、子どもが産まれたからそこをサポートしましょうというのは本当によく考えたなと今でも思っているのです。何を申し上げたいかというと、ここで掲げている二つの未来創生プランのうち一つの<u>結婚・出産・子育てを支える環境づくりは、職員の方の中でも、特に、今まさに子育てをリアルタイムでされている若い方を中心に考えていただきたい、そうするべきだということ</u>です。子育て環境の施策というのは、昔、自分が体験したときより新しいメニューやプログラムがどんどん出てきているので、ベテランの方というより、<u>今、子育てをしている若い方を中心にタスクフォースをつくるという形でぜひ進めていただきたい</u>なという希望を持っています。</p> <p>○高野部会長 政策については、子育て対象世代の人がメインで立案をすべきだという話ですね。</p>	<p>ご指摘の子育て分野も含め、職員は、市民の困りごとや不安に共感し、当事者の視点に立って物事を考えることが重要ととらえており、行政運営の視点に、その趣旨を掲載しております。</p> <p>特に、若手職員の意欲ややりがいを政策に反映させることで、職員の成長を促すことができるよう、職員エンゲージメントを高める取組も併せて進めてまいりたいと考えております。</p>